

全日本代表が指導 バスケットボール

小川、多磨小合同

岩国市出身で元全日本男子バスケットボールチームのメンバール塩屋清文さん(42)が指導する「バスケットボール教室」が二十七日、多磨小学校で行われた。

同教室は文科省所管の公益財団法人「日本

体育協会」(張富士夫会長、本部=東京)が「子どもの体力向上啓発事業」の一環として主催。元々、小川小学校が同事業の採択を受けたが、小川小の体育館で耐震化工事が行われているため、同じ田万川地域の多磨小体育館で両校合同で行われた。

バスケットボール教室には両校の三年、六年まで七十五名が参加。ボールを使ったウォーミングアップを行った後、ドリブルやシュートなどの練習を行った。塩屋さんはドリブルを上手くするポイントとして「手のひらではなく指でボールを扱うこと」「前に進む時はボールを自分の横ではなく前でバウンドさせること」、シュートは「なるべく高く打



〈塩屋さんとミニゲームをする児童たち〉

つこと」などを紹介した。授業の最後には塩屋さんと児童によるミニゲームも行われた。多磨小五年の石田彬君は「塩屋先生はとても優しく、分かりやすく教えてくれた。バスケットが好きになった」

と感想を話した。塩屋さんは「地元山口県への恩返しになれば嬉しい。子どもたちにはバスケットに限らず、何か熱中できる夢を持つてほしい」と語った。塩屋さんは岩国市出身。地元の中学卒業

後、福井県にあるバスケットの名門、北陸高校に進学。三年時にインターハイ優勝を果たした。大学は日本大学に進み、四年時にインカレで優勝。大学卒業後はゼクセルやアイシン精機、いすゞ自動車などでプレイしたほか、全日本のメンバールとしてシドニー五輪アジア予選にも出場している。